

【賛美】

●「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【祈り】

●必要のため ○○さんの癒しのために、○○さんの救いのために

- 教会の祈りの課題と目標
- ・全聖徒招待伝道集会のために一人以上招待できますように
- 12月17日 磐田地教会
- 12月21日 大船渡教会
- 12月22日 仙台教会
- 12月23日 名古屋教会
- 12月24日 四日市教会、名古屋教会
- 12月25日 名古屋教会
- ・12月26-28日 中高修練会のために

●聖霊様の油注ぎにより5つの力の祝福を味わう祈禱文

1. 霊力

十字架の血潮で、すべての罪と問題を解決した主イエス・キリストよ。私に聖霊の油を溢れるほど注いでください。私をただキリストとならせ、キリストを完全に信頼する信仰を与えてくださり、サタンに騙されず、いつも主と共に歩むことのできる霊的な力を与えてください。

2. 知力

復活してサタンの権威、地獄の権威を打ち破り、いまも生きておられる主イエス・キリストよ。私に聖霊の油を溢れるほど注いでください。そして、すべての知恵と知識であるキリストを完全に知り、すべてを分別できる知恵と知識の能力を与えてください。

3. 体力

天の御座でサタンを足台とし、天においても地においても一切の権威を持っておられる主イエス・キリストよ。私に聖霊の油を溢れるほど注いでください。そして、キリストの癒しの力により、いつも健康で、キリストのために完全に献身できる体力を与えてください。

4. 経済力

いつも私と共におられ、世界福音化を成される主イエス・キリストよ。私に聖霊の

油を溢れるほど注いでください。そして、万物の主人であるキリストが任せてくださった経済を正しく管理し、主の御心のままに用いられることができるようにしてください。さらに多くの財物を任せてくださり、聖なる金持ちとなって世界福音化に完全に献身できる経済力を与えてください。

5. 人力

生ける者と死者を裁くために再臨する主イエス・キリストよ。私に聖霊の油を溢れるほど注いでください。そして、キリストの愛と力で人に仕え、御言葉と祈りで多くのキリストの弟子とレムナントを立てることができるようにしてください。イエス・キリストの御名でお祈りします。ーアーメンー

【メッセージ】「真の祭司として来られたキリスト」 マルコ1:9-15

序論

韓国の李樹延(1882年朝鮮通信者随員)は日本の農業博士である津田仙(技術、その何よりも福音が重要、儒教は部屋を照らす電球とするなら福音は全地球を照らす太陽のよう)を通して日本で福音を聞きクリスチャンとなりました。(当時、クリスチャンになるということは命をかけることだった)

その後、彼はアメリカの教会に手紙を書き、朝鮮にも宣教師を送ってくれるよう要請しました。その手紙を読んで二名の宣教師が朝鮮へ派遣されることとなりました。アペンゼラーとアンダーウッド宣教師は李樹延が翻訳したマルコの福音書(漢文を朝鮮語に)を持ってが朝鮮に入りました。

全世界の強大国はキリスト教国家であることがわかります。日本は多くの人々が偶像崇拜をする国であるのに、なぜ成長した国家なのでしょう？136年前、日本はアジアでイエス様を良く信じる(津田仙)国でした。しかし、この時代は福音の価値を失った時代です。どんなものも福音と比べることはできません。福音の価値を回復すればすべてが回復されます。本文の御言葉は聖徒たちが困難の中にあればあるほど御言葉に集中、礼拝に集中すれば勝利する方法(道)を仰せられています。

1. マルコの福音書の序論

(1) 著者ーマルコ(ヨハネ/ヘブライ式、マルコ/ローマ式)

- 1) マルコ(ヨハネ)の母(信仰、経済力を持っていた)
- 2) マタ 26:17-19 (最後の晩餐)
- 3) 使 1:13-14 (マルコの屋上の間/エルサレム教会)
- 4) 使 12:12 (牢屋に捕らえられているペテロの為に集まり祈った)
- 5) 使 12:13-15 (女中を雇うほどの経済力)
- 6) I ペテ 5:13 (ペテロの弟子ー私の子マルコ)
- 7) 幼いレムナントだったマルコは(小学生)この全ての事を聞いて、見て育った

8)コロ 4:10 (バルナバのいとこ)

9) II テモ 4:11(パウロの弟子)

(2)記録年代

1)AD 67 年－70 年

2)ペテロとパウロが殉教した後に記録

(3)記録目的

1)AD 64 年ローマの大火災の後(ローマの2/3が火で燃える)

2)ネロ皇帝(精神的問題)ーローマ市民が反発、怒り

3)責任をクリスチャンに押し付けるー迫害が始まる

4)困難の中に置かれているローマのクリスチャンのために記録

5)旧約:イスラエルの民の為に記録、新約:救われる者、聖徒の為に記録
(イスラエルの民が、教会が特別な困難にあった時)

(4)マルコの福音書の主題

1)真の祭司長となられたキリスト

2)しもべとして来られたキリスト

2.真の祭司長(しもべ)として来られたキリスト

マタイの福音書は真の王として来られたキリストであり、マルコの福音書は真の祭司長として来られたキリストです。なぜ祭司長として来られたのでしょうか？人間が滅びる理由は学力(知識)、物質(経済)、背景がなくて、また、病で滅びるのではなく、人間にだけある霊的問題によって滅びます。

(1)人間の根本(霊的)問題

1)サタンの誘惑

2)罪を犯し(不信仰)

3)神様から離れた(死)、科学、文化、経済、宗教、知識では解決されない

(2)唯一な解決者(解答)ーキリスト

1)真の王(I ヨハ 3:8)ーサタンを滅ぼす

2)真の祭司長(ロマ 8:2)ー罪を赦す(解放)

3)マル 10:45、ヘブ 10:12、ヨハ 19:30 ヘブ 7:24-25、ロマ 5:17.

・救いの条件はイエス様を信じれば永遠な救い(義認、義人)、サタンは末信者には信じられないようにし、信者には罪意識、不安、恐れを与える

(3)しもべとしてのキリスト

・マタイの福音書 1 章~2 章に王の系図を通して真の王として来られるキリストを記録

1)マルコの福音書ーイエスキリストの出生記録がない

2)しもべなので資格(私、自身)がない

3)犠牲、献身、従順の人格だけあるのがマルコの福音書特徴
(十字架にかかれる)

4)しもべとして来られた特徴ーすぐさま伝道の働きに入られる

(マル 1:14-15/預言者)

5)急焼きの祭司長の特徴ー毎日礼拝(生贄)、毎日羊、牛(犠牲の生贄)を捧げた、区別された生活

6)悪魔の誘惑に勝利されたことも短く記録、真の王(マタ 4:1-11)ではなく犠牲、謙遜なイエス様の人格(マル 1:12-13)マルコの福音書を通して真の祭司長として来られたキリストを知ることができる

3.伝道者の教訓ー適用

(1)イエス様の人格(自分ではなく仕える/マル 10:45、しもべの姿勢)

1)世とサタンーキリストの王権を持って、偶像、不信仰、恐れに抑えられるのではなく霊的に戦う(権能が現れる)

2)教会と聖徒ーキリストの祭司長の働き(犠牲、謙遜、許し、理解、へりくだる)

3)天国、神の国の働きー王、祭司、預言者の使命

(2)ピリ 2:5-8(キリストの人格である従順、謙遜、犠牲、愛を味わおう。イエス様は教会の頭であり私たちの中に聖霊として共におられる)

(3) II コリ 4:5(しもべは自分自身を語るのではなく、主人であるキリストを語る)

(4) I ペテ 2:9(王的権威がなくてはならず、祭司長的犠牲の献身がなくてはならず、預言者の役割を果たせなければなりません。私たちの主な働きは神様の御言葉を代弁する預言者の働きです)

(5)宗教改革により万民祭司職は回復しましたが二つを回復できなかった(万人王、万人預言者職を回復しないと×)世の人々は一度もイエスがキリストであることを聞くことができずに滅んでいます。

マルコの福音書の結論(私たちの使命)やはりマル 16:15 の御言葉である、“全世界に出て行きすべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい” クリスマスを前に伝道の最高のチャンスとなれば(家族、親戚、同僚など)王的権威をもって強く雄々しく、大胆に、祭司的的使命をもって謙遜、愛、許し、預言者的使命をもって福音を宣布

結論:どのようにすれば良いでしょうか？

イエスキリストの助けと聖霊の助けにより、神様が私たちに下さった特権を用いて~

1.聖霊充滿ー祈り(マル 1:10、使 1:8)

2.王一世、サタンに霊的に大胆に、祭司長ー人格(許し、謙遜、献身、仕え、へりくだる)。預言者ー伝道者、福音宣布を味わわせて下さい

3.生活の目的、地球が回っている理由、仕事、産業の理由ー王、祭司、預言者の働きをするため私たちに召された、私たちの本業です。